

平成 28 年度 第 1 回練馬区立美術館運営協議会次第

平成 28 年 11 月 8 日（火）午後 3 時
サンライフ練馬 3 階 研修室

委嘱状交付

- 1 挨拶
- 2 会長・副会長の選出
- 3 平成 27 年度事業報告
 - (1) 展覧会事業
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 美術作品の収集事業
 - (4) ぐるっとパスの利用状況
 - (5) 広報活動と反響
- 4 平成 28 年度事業計画
 - (1) 展覧会事業
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 博物館実習実績
 - (4) 収蔵品貸出一覧
- 5 美術の森緑地
- 6 その他

平成28年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成28年11月8日)

平成28年度第1回練馬区立美術館運営協議会 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成27年度事業報告	5
(1) 展覧会事業	5
(2) 教育普及事業	7
(3) 美術作品の収集事業	17
(4) ぐるっとパスの利用状況	22
(5) 広報活動と反響	23
2 平成28年度事業計画	30
(1) 展覧会事業	30
① 横井弘三展	31
② コレクション展	32
③ しりあがり寿展	33
④ 朝井閑右衛門展	34
⑤ 栗津則雄コレクション展	35
⑥ 田沼武能写真展	36
⑦ お蔵出し！コレクション展	37
(2) 教育普及事業（中間報告）	38
(3) 博物館実習実績（報告）	41
(4) 収蔵品貸出一覧（中間報告）	42
3 美術の森緑地について	43
(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向について	43
4 その他	

第 16 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成 28 年 11 月 8 日現在

		氏 名	役 職
学識経験者	委員	栗津 則雄	文芸評論家
	委員	高橋 幸次	日大芸術学部美術学科教授
	委員	青木 茂	明治美術学会会長
	委員	伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	委員	佐藤 康宏	東京大学教授
	委員	島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	委員	内藤 正人	慶応義塾大学教授
練馬区議 会議員	委員	かしま まさお	区議会議員
	委員	橋本 けいこ	区議会議員
	委員	岩瀬 たけし	区議会議員
	委員	土屋としひろ	区議会議員
公募区民	委員	前田 尚子	公募区民
	委員	須藤 麻世	公募区民
	委員	齋藤 宜子	公募区民
美 術 関係者	委員	伊藤 定夫	練馬・文化の会代表
	委員	島田 紘一 呂	練馬区美術家協会 会長
学校教育 関係者	委員	江川 誠志	三原台中学校長
	委員	玉置 一仁	光が丘第八小学校教諭

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 平成27年度事業報告

(1) 展覧会事業

平成27年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月5日(日) ～5月17日(日)	開館30周年記念 没後100年小林清親展 －文明開化の光と影を見つめて－	37	8,000 (216)	14,785 (400)	184.8%
6月11日(木) ～6月30日(火)	N+N2015(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) 「The彫刻～Nichigei 彫刻の現在」	17	3,740 (220)	1,405 (83)	37.6%
7月12日(日) ～9月6日(日)	開館30周年記念 舟越保武彫刻展 －まなごしの向こうに－	49	10,800 (220)	22,948 (468)	212.5%
9月20日(日) ～11月15日(日)	開館30周年記念 アルフレッド・シスレー展 －印象派、空と水辺の風景画家－	49	22,050 (450)	41,849 (854)	189.8%
11月21日(土) ～2月7日(日)	浜田浄の軌跡－重ねる、削る 絵画－	62	15,000 (242)	3,697 (60)	24.6%
2月19日(金) ～4月10日(日)	国芳イズム－歌川国芳とその系脈 武蔵野の洋画家 恵俊彦コレクション	45	11,250 (250)	15,532 (345)	138.1%
合 計		259	70,840 (274)	100,216 (387)	141.5%
前年度		169	44,900 (266)	32,052 (190)	前年度比 312.7%

(イ) 2階展示室によるコレクション展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
5月22日(金) ～6月30日(火)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3 1970年～80年 牧野邦夫《インパール》を中心に	34	8,160 (240)	3,400 (100)	41.7%
合 計		34	8,160 (240)	3,400 (100)	41.7%
前年度		78			前年度比
			観覧者数	17,767	19.1%
			1日当り	(228)	43.9%

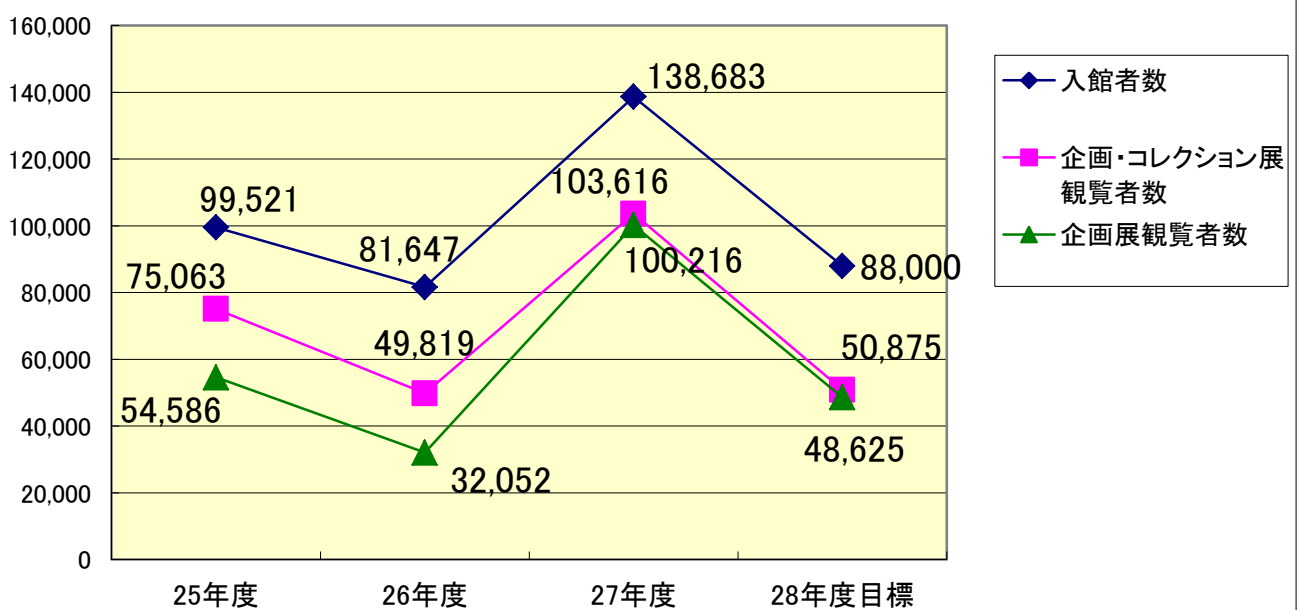
企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	26年度	27年度	前年度比
	49,819	103,616	208.0%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
5月22日(金) ～5月31日(日)	第61回練馬区美術家協会展	9	1,554 (173)	
1月9日(土) ～1月13日(水)	中学校生徒作品展	4	3,477 (869)	
1月16日(土) ～1月21日(木)	小学校連合同工展	5	9,941 (1,988)	
1月23日(土) ～1月24日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,586 (5,293)	
1月30日(土) ～2月7日(日)	第47回練馬区民美術展	8	2,672 (334)	
合 計		28	28,230 (1,008)	前年度比 108.5%
前年度		28	26,007 (929)	

入館者数比較	26年度	27年度	前年度比
	81,647	138,683	169.9%

入館者数・観覧者数推移



(2) 教育普及事業

平成27年度 教育普及事業実績

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	参加	
N+N展関連 ワークショップ	中高生のための彫刻入門 —木片を組み合わせた立 体制作—	6月14日(日) 13:30～16:00	大槻 孝之 (日本大学芸術学部教 授)	木片を組み合わせて彫刻を 制作した	中学生 ～18歳	無料	15	6
舟越保武展 関連美術講座	粘土で作るあなたの顔 【A】	7月31日(金) 13:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	舟越展鑑賞後、ブロンズ風の 粘土(300グラム)で自身の頭 部を作成した	小学生	500	10	10
	粘土で作るあなたの顔 【B】	8月1日(土) 13:30～17:00					10	7
	粘土で作るあなたの顔 【C】	8月2日(日) 13:30～17:00					10	10
	粘土で作るあなたの顔 【D】	8月7日(金) 13:30～17:00					10	9
舟越保武展 関連美術講座	身体の一部を彫ってみよう (2日間)	8月8日(土) ～9日(日) 10:30～17:00	石井 琢郎 (彫刻家)	舟越展鑑賞後、不定形の江 持石を使って身体の一部を 手彫りした	中学生 以上	3500	15	15
舟越保武展 関連美術講座	ペタペタひんやり水粘土 であそぼう【A】	8月22日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	舟越展鑑賞後、塑像用の粉 末状土粘土に水を加え各自 好きなものを作った	3～6歳 +保護者	300	5組	5組 12名
	ペタペタひんやり水粘土 であそぼう【B】	8月22日(土) 14:00～15:30					5組	2組 5名
	ペタペタひんやり水粘土 であそぼう【C】	8月23日(日) 10:30～12:00					5組	5組 11名
	ペタペタひんやり水粘土 であそぼう【D】	8月23日(日) 14:00～15:30					5組	4組 8名
シスレー展 関連 河川を学ぶ ワークショップ	東京の川、荒川を知る— 川から見る水の都市・東京 の姿—	事前学習 9月26日(土) 14:00～ フィールドワーク 10月8日(木) 13:00～17:00	小野 寛子 (当館学芸員)、 里村真吾 (国土交通省関東地方 整備局荒川下流河川 事務所事務所長)	展覧会鑑賞後、荒川河川事 務所所長の案内で、船で荒 川を下った	中学生 以上	展覧会 観覧料 + 100 (保険料)	30	27
シスレー展 関連 河川を学ぶ ワークショップ	練馬の川、石神井川を知 る—歩いてめぐる練馬の 歴史と景観—	事前学習 10月10日(土) 10:30～ フィールドワーク 10月18日(日) 14:00～17:00	小野 寛子 (当館学芸員) 根岸 博之 (当館職員)	展覧会鑑賞後、石神井川に 沿って歩きながらその歴史に ついて解説した	中学生 以上	展覧会 観覧料 + 100 (保険料)	15	16
国芳イズム展 関連 美術講座	彫って、刷って、綴じて。 リノタッチ版画集を作ろう	2月27日(土) ～28日(日) 10:30～17:00	山口 茉莉 (版画家)	国芳展鑑賞後10×12cmのリ ノウムの板を彫り版画を制 作。参加者皆の作品を和綴 じた作品集を作った	中学生 以上	1200	20	17
							135	153

計13回 延153名

② ギャラリートーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	参加
小林清親展	4月18日(土)	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会 観覧料	—	123
	5月9日(土)			—	展覧会 観覧料	—	
コレクション展	5月23日(土) 14:00～14:30	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	無料	—	37
	6月6日(土) 14:00～14:30			—	無料	—	
N+N展2015	6月27日(土) 14:00～14:30	鞍掛 純一	作家2名によるトーク	—	無料	—	63
	6月27日(土) 15:00～16:00			—	無料	—	
舟越保武展	8月1日(土) 15:00～	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会 観覧料	—	125
	8月15日(土) 15:00～			—	展覧会 観覧料	—	
シスレー展	10月15日(木) 14:30～15:00	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会 観覧料	—	78
	11月4日(水) 14:30～15:00			—	展覧会 観覧料	—	121
浜田浄展	11月28日(土) 15:00～16:00	浜田浄、 萬木康弘 (美術評論家)	作家とゲストによるロビーでの トーク※1月9日は創作室	—	展覧会 観覧料	—	35
	12月13日(日) 15:00～16:00	浜田浄、 笹木繁男 (現代美術資料センター 主宰)、 三田晴夫 (美術ジャーナリスト)		—	展覧会 観覧料	—	52
	1月9日(土) 15:00～16:00	浜田浄、 福住廉 (美術評論家)		—	展覧会 観覧料	—	80
国芳イズム展	2月25日(木) 15:00～	恵 俊彦	出品作のコレクターによる ギャラリートーク	—	展覧会 観覧料	—	50
	3月24日(木) 15:00～			—	展覧会 観覧料	—	56
	3月10日(木) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会 観覧料	—	47
	4月7日(木) 15:00～			—	展覧会 観覧料	—	44
							911

計17回 延911名

③ 講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	参加	
小林清親展 記念講演会	清親の生涯	4月12日(日) 15:00～	岡本 祐美 (北海道教育大学教授)	清親の生涯についてお話 いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	69
	小林清親の学んだもの	5月2日(土) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	清親が影響を受けた同時代 の様々な物事について解説 した(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	71
N+N展 関連講演会	彫刻よ立って歩け:彫刻の 歴史と現在	6月20日(土) 14:00～15:30	高橋 幸次 (日本大学芸術学部教 授)	近現代彫刻の歴史をお話し いただいた	中学生 以上	無料	50	23
舟越保武展 記念講演会	舟越保武の彫刻:造形性 をめぐって	7月25日(土) 15:00～	高橋 幸次 (日本大学芸術学部教 授)	舟越が影響を受けたロダンの 言葉を中心に解説いただい た(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	67
	手で見るという事—私の舟 越安武体験	8月8日(土) 15:00～	萩原 朔美 (多摩美術大学造形学 部教授)	萩原朔太郎像の話等ご自身 の舟越体験についてお話し いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	62
シスレー展 特別講演会	シスレー芸術の魅力—空 と水辺	10月3日(土) 14:30～16:00	島田 紀夫 (実践女子大学名誉教 授、ブリヂストン美術館 前館長)	シスレー芸術の魅力につい てお話いただいた(於視聴 覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	78
	絵になる川の眺めを探し て	10月10日(土) 14:30～16:00	萩島 哲 (九州大学名誉教授)	シスレーの描いたモレシュ ロワンの光景を、現地調査を もとに解説(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	62
	テクノロジーが支えた印象 派の水面	10月17日(土) 14:30～16:00	佐川 美加 (セーナ川研究家)	セーナ川の河川事業の歴史 から印象派の絵画について 解説(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	69
	アルフレッド・シスレーと作 品の行方	10月31日(土) 14:30～16:00	小泉 順也 (一橋大学准教授)	シスレーの作品が辿った現 在までの歴史をお話しただ いた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	64
	印象派の風景画 —日本近代洋画との関係 —	11月7日(土) 14:30～16:00	小野 寛子 (当館学芸員)	シスレーに影響を受けた日 本の画家について解説した (於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	63
国芳イズム展 記念講演会	恵コレクションの思い出	2月27日(土) 15:00～	浅野 秀剛 (大和文華館館長)	恵コレクションが出品され た展覧会の思い出などを お話いただいた(於視聴 覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	66
	恵コレクションのすべて =それは国芳からはじま った	3月26日(土) 15:00～	恵俊彦 (コレクター、風土会 会員)	ご自身の蒐集活動につい てお話いただいた(於視 聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	78
						820	772	

計12回 延772名

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	参加	
小林清親展関連	コンサート	4月19日(日) 15:00～	小池 ちとせ(ピアノ)、三宅 進(チェロ)	—	展覧会 観覧料	—	150	
	浮世絵の刷り実演	4月25日(土) 11:00～	渡邊 章一郎(渡邊木版美術画舗)	—	展覧会 観覧料	—	193	
		4月25日(土) 14:00～		—	展覧会 観覧料	—		
	読み語り	4月26日(日) 15:00～	銀河 万丈(声優)	藤沢周平「旅の誘い」等読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	66
舟越保武展	映画上映会 「日本二十六聖人われ世に勝てり」(1931年)	8月30日(日) 10:30～	日本二十六聖人にまつわる映画を上映した ※申込多数のため午後落選者を対象に午前に追加 上映を行った	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	96	
		8月30日(日) 15:00～				70		
	記念コンサート	8月22日(土) 15:00～	小池 ちとせ(ピアノ)、河野 めぐみ(声楽)	—	展覧会 観覧料	—	285	
	読み語り	8月29日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	藤沢周平「最後の殉教者」等の読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	68
シスレー展	読み語り	9月27日(日) 15:00～16:31	銀河 万丈(声優)	永井荷風「ふらんす物語」等の読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	74
	シャンソンコンサート	10月4日(日) 15:00～16:00	広瀬 敏郎	—	展覧会 観覧料	—	124	
	アルフレッド・シスレー パースデーコンサート	10月30日(金) 18:20～	渚 智佳(ピアノ)、田口 美里(ヴァイオリン)	中学生 以上	展覧会 観覧料	50	68	
国芳イズム展	薩摩琵琶と琴による演奏会	3月5日(土) 14:30～	荒井 靖水、荒井 美保	—	展覧会 観覧料	—	106	
	林家正雀 落語会—江戸 名人伝説	3月12日(土) 15:00～	林家 正雀	演目「浜野矩隋」ほか	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	71
	浮世絵の刷り実演	3月19日(土) 11:00～	渡邊 章一郎(渡邊木版美術画舗)	—	展覧会 観覧料	—	42	
		3月19日(土) 14:00～		—	展覧会 観覧料	—	51	
	読み語り	4月2日(日) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	藤沢周平「踊る手」等の読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	72
							1466	

計16回 延1466名

⑤ 鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	参加		
コレクション展	トコトコ美術館【A】 vol.14「かげ」	5月30日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展示室内で「描かれたかげ」を親子で探した後、絵本『やさいのおなか』を皆で見た。創作室でスタンドライトのもと様々な道具で影をつくり、画用紙に鉛筆で写し取ってカットし、黒画用紙に貼った	3～6歳+保護者(子ども1～2名+保護者1名)	無料	各回 5組	6組 14名	
	トコトコ美術館【B】 vol.14「かげ」	5月30日(土) 14:00～15:00						4組 9名	
	トコトコ美術館【C】 vol.14「かげ」	5月31日(日) 10:30～11:30						5組 11名	
	トコトコ美術館【D】 vol.14「かげ」	5月31日(日) 14:00～15:00						5組 10名	
	トコトコ美術館【E】 vol.14「かげ」	6月7日(日) 10:30～12:00						小学1,2年生+保護者	5組 10名
	トコトコ美術館【F】 vol.14「かげ」	6月7日(日) 14:00～15:30							5組 11名
シスレー展	トコトコ美術館【A】 vol.15「川」	10月30日(金) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展示室内で川の絵を探した後、絵本『川はながれる』を皆で見た。創作室で皆で1本の川の絵を絵の具で描いた			各回 5組	4組 8名	
	トコトコ美術館【B】 vol.15「川」	10月31日(土) 10:30～12:00						5組 11名	
浜田浄展	トコトコ美術館【A】 vol.16「鉛筆」	12月19日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展示室で鉛筆で描かれた作品を見た後、絵本『はなをくんくん』を皆で見た。創作室で6種類の濃さの鉛筆を使って絵を描いた	3～6歳+保護者(子ども1～2名+保護者1名)	無料 ※ただし保護者は当日の観覧券が必要	各回 5組	5組 10名	
	トコトコ美術館【B】 vol.16「鉛筆」	12月19日(土) 14:00～15:30						5組 10名	
	トコトコ美術館【C】 vol.16「鉛筆」	12月20日(日) 10:30～12:00						4組 9名	
	トコトコ美術館【D】 vol.16「鉛筆」	12月20日(日) 14:00～15:30						5組 10名	
	トコトコ美術館【E】 vol.16「鉛筆」	1月30日(土) 10:30～12:00						小学1,2年生+保護者	5組 10名
	トコトコ美術館【F】 vol.16「鉛筆」	1月30日(土) 14:00～15:30							5組 12名
							計14回	68組 145名	

計14回 延145名

II) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	参加
美術史	「作って学ぶ美術のれきし(絵画編)」 5月24日(日) 6月21日(日) 7月19日(日) 10:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	旧石器時代から20世紀までの絵画の歴史を聞き、特徴ある時代を体感できる絵画制作(各回2～3種)を行った(於視聴覚室)	小学5年生～中学生	無料	15	9
美術史	「大正期の奇怪な画家について」 12月12日(土) 15:00～16:30	喜多 孝臣 (当館学芸員)	横井弘三を中心に大正期の様々な作家を紹介した	中学生以上	無料	70	39
油彩	「初めての人物画」 (2日間) 3月20日(日) 10:30～17:00	三浦 高宏 (画家)	ヌードモデルをモチーフに、人体の構造などの解説を聞きつつ油彩画を描いた	中学生以上	4000	20	18
	3月21日(月祝) 10:30～17:00						
						105	66

計3回 延66名

Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	参加
四季のみじたく25	夏のみじたく「革で作るきんちゃく袋」【A】	6月28日(日) 10:30~12:30	神田 沙耶香 (デザイナー)	革についてのお話を聞いたあと、コンパスと定規で型を作り、5色の革から好きな色を選び、最大直径34センチの円を切り出す。パンチで穴を開け革紐を工夫して通してきんちゃくを作った	小学4年生以上	3500	10	8
	夏のみじたく「革で作るきんちゃく袋」【B】	6月28日(日) 14:00~16:30					10	9
美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ遊び【A】		8月15日(土) 10:30~12:30	真子 みほ (当館学芸員)	バックヤードを巡りながらいくつかの箇所では色鉛筆でフロタージュをし、さまざまな場所を「採集」する。探検から戻ったら採集した紙を糸で綴じ標本として持ち帰った	5歳~ 小学3年生	100	10	7
美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ遊び【B】		8月15日(土) 14:00~16:00					10	10
美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ遊び【C】		8月16日(日) 10:30~12:30					10	6
美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ遊び【D】		8月16日(日) 14:00~16:00					10	5
四季のみじたく26	秋のみじたく「ワイシャツ生地を手縫いして作るハンカチ」【A】	9月27日(日) 10:30~12:30	窪田 健吾 (デザイナー)	シャツの端切れから好きな生地を選び、4枚の正方形を切り取る。シャツの肩の処理と同じように4枚の生地を縫い合わせハンカチを作った	小学4年生以上	500	10	9
	秋のみじたく「ワイシャツ生地を手縫いして作るハンカチ」【B】	9月27日(日) 14:00~16:00					10	6
四季のみじたく27	冬のみじたく「自分だけの柄で贈り物を包む包装紙を作ろう」	11月29日(日) 10:30~17:00	青山 佳世 (テキスタイルデザイナー)	画用紙に絵やコラージュを施し、四方送りの方法で用紙を切り貼りし、連続する総柄を制作。4枚コピーしつなげ包装紙を作った	小学4年生以上	500	20	19
四季のみじたく28	春のみじたく「羊毛フェルトで洋服に模様を描こう」【A】	3月27日(日) 10:30~12:30	千種 (羊毛フェルト作家)	羊毛フェルトをニードルで指し、既製の洋服に模様を描いた	小学4年生以上	1000	10	7
	春のみじたく「羊毛フェルトで洋服に模様を描こう」【B】	3月27日(日) 14:00~16:00					10	8
							120	94

計11回 延94名

Ⅳ) その他

事業名	日程	講師・出演者	内容	対象	参加費	定員	参加	
美術の森ガイドツアー	4月25日(土) 13:30~	若林 覚 (当館館長)	リニューアルオープンした美術の森緑地を解説しながら巡った	—	無料	—	10	
	5月16日(土) 13:30~			—	無料	—	10	
貫井図書館×美術館 図書館資料を使って展覧会を考える	1月31日(日) 13:30~16:00	貫井図書館職員、 真子みほ (当館学芸員)	美術館の所蔵品カードと図書館の資料を使って展覧会を考えた	小学生以上	展覧会 観覧料	20	11	
貫井図書館×美術館 大人のための調べ学習	3月13日(日) 13:30~16:00	貫井図書館職員、 真子みほ (当館学芸員)	国芳展鑑賞後、自由なテーマで調べ学習を行った	中学生以上	展覧会 観覧料	15	5	
							35	36

計4回 延36名

館内事業計90回 参加者延3,643名

学校関連事業

I) スクールプログラム 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
小林清親展	5月3日(火) 13:30～	ロビーでのあいさつのみ	慶応志木高等学校・3年生	11	1
コレクション展	6月13日(土) 13:45～15:45	展示室内での作品解説と自由鑑賞	新座市立第六中学校・美術部	6	1
	6月25日(木) 13:30～	展示室内での作品解説と自由鑑賞	練馬区立大泉第六小学校・5年生	72	4
舟越保武展	7月14日(火) 15:00～	展示室内での作品解説と自由鑑賞	東京造形大学・博物館学	11	1
	7月15日(水) 16:30～18:00	美術館サポーター3名による 展示室での作品解説	練馬区立大泉第三小学校・6年生	95	5
	7月31日(金) 10:00～12:00	展示室内での作品解説と自由鑑賞	練馬区立八坂中学校・美術部	7	2
	9月4日(金) 14:00～14:45	ロビーでの作品解説と自由鑑賞	練馬区立石神井東小学校・6年生	64	4
シスレー展	10月1日(木) 14:00～16:00	展覧会鑑賞後、川の絵本を読み、 創作室で皆で大きな川の絵を描いた	練馬区立富士見台地区区民館	9	2
	10月8日(木) 10:00～	NPO法人アルダによる対話型鑑賞プログラム	西東京市立保谷小学校・4年生	75	30
	10月16日(木) 13:10～14:00	10月14日の出張プログラムでの レクチャーを踏まえたうえでの自由鑑賞 ワークシート学校制作	山崎学園富士見中学校・2年梅組	40	1
	10月21日(火) 11:40～12:30		山崎学園富士見中学校・2年桃組	39	1
	10月21日(火) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年松組	39	2
	10月21日(火) 14:10～15:00		山崎学園富士見中学校・2年桜組	38	2
	10月22日(水) 10:40～11:30		山崎学園富士見中学校・2年菊組	38	1
	10月22日(水) 14:10～15:00		山崎学園富士見中学校・2年竹組	40	2
	11月5日(木) 10:00～		創作室での展覧会解説と自由鑑賞 ワークシート美術館制作	中野区立緑野小学校・5年生	75
国芳イズム展	2月25日(木) 14:00～	創作室と展示室での解説と自由鑑賞	練馬区立大泉第一小学校・5年生	59	4
				718	68

計18回 延786名

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	4月23日(木) 14:30~15:30	—	中央工学校	41	2
	5月2日(土) 13:00~14:00	—	立教大学/尚美学園大学 ・博物館資料論履修生	35	1
	5月8日(金) 13:30~14:30	—	日本大学芸術学部 ・博物館実習履修生	9	1
	5月12日(火) 13:30~14:30	—		24	1
	6月16日(火) 17:30~18:00	—	十文字学園女子大学	21	1
	11月23日(火) 10:00~11:00	—	東京造形大学・博物館学履修生	14	1
	12月8日(火) 11:00~	—	練馬区立練馬第三小学校・2年生	8	1
	12月12日(土) 10:30~11:30	—	武蔵大学・資料保存論履修生	23	1
				175	9

計8回 延184名

③ 職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた。

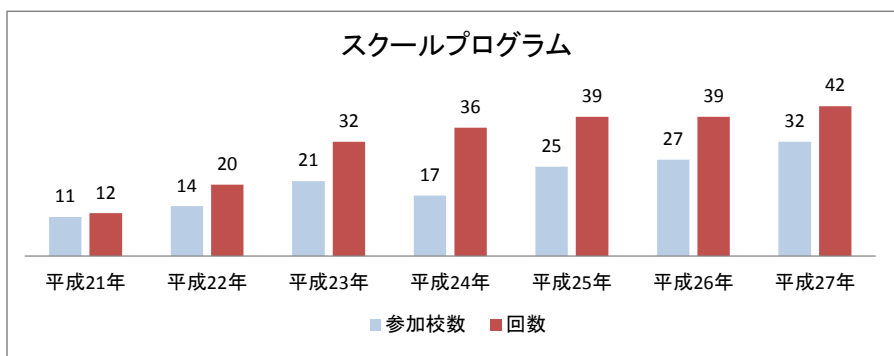
コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月25日(木)~26日(金) 9:30~15:00	6月18日(金)15:30~	練馬区立関中学校・2年生	2	1
	7月14日(火)~15日(水) 9:30~15:00	6月26日(金)15:30~	練馬区立豊玉中学校・2年生	2	1
	7月29日(水)~30日(木) 9:30~15:00	7月18日(土)14:00~	千代田区立九段中等教育学校 ・2年生	1	1
	10月6日(火)~7日(水) 9:30~15:00	9月10日(木)	練馬区立南が丘中学校・2年生	2	1
職場訪問	10月16日(金) 14:30~	9月27日(日)15:30~	練馬区立光が丘第四中学校 ・1年生	1	0
職場体験	11月25日(水)~26日(木) 9:30~15:00	10月6日(金)14:00~	練馬区立光が丘第二中学校 ・2年生	1	1
	11月25日(水)~26日(木) 9:30~15:00	10月20日(金)16:00~	練馬区立大泉中学校・1年生	2	1
	11月26日(木)~27日(金) 9:30~15:00	11月11日(火)14:00~	練馬区立開進第一中学校 ・2年生	3	1
	12月16日(水) 9:30~15:00	なし	駒場東邦中学校・2年生	3	0
	12月17日(木) 9:30~15:00	なし	駒場東邦中学校・2年生	3	0
	12月18日(金) 9:30~15:00	なし	駒場東邦中学校・2年生	2	0
	1月28日(木) 9:30~15:00	12月10日(木)14:00~ 1月14日(木)15:30~	練馬区立中村中学校・1年生	3	1
				25	8

計12回 延33名

④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張 プログラム	7月10日(金) 8:35～10:10	コレクションカードの中から2～3点作品を選び、各自が展覧会企画を行った	練馬区立豊玉小学校 ・5年1組	81	1
	7月16日(木) 8:45～10:20		練馬区立豊玉小学校 ・5年2組		1
	7月17日(金) 8:45～10:20		練馬区立豊玉小学校 ・5年3組		1
	10月14日(水) 11:50～12:40	シスレー展鑑賞の事前学習として担当学芸員がレクチャーを行った	山崎学園富士見中学校 ・2年生	240	1
				321	4

計4回 延325名



スクールプログラム 計32校42回 参加児童・生徒・学生 延1328名
 昨年度 計27校39回 参加児童・生徒・学生 延981名

II) ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。

各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
小林清親展	4月15日(火) 15:30～	20
コレクション展	6月18日(火) 15:30～	12
舟越保武展	7月28日(火) 15:30～	14
アルフレッド・シスレー展	9月29日(火) 15:30～	11
浜田浄展	12月1日(火) 15:30～	6
国芳イズム展	2月23日(火) 15:30～	7
		70

計6回 延70名

Ⅲ) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行った。
 ※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

本年度の貸し出し なし

Ⅳ) その他

◆学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延20名(引率延4名)

日時	参加プログラム名	活動内容	人数	引率
7月31日(土)	13:00~17:30	粘土で作るあなたの顔	各日5名	1名
8月1日(日)		粘土で作るあなたの顔		1名
8月15日(土)	10:00~16:30	美術館をつかまえる!? AB		1名
8月22日(土)	10:00~16:00	水粘土で遊ぼう AB		1名

◆団体観賞用バスの派遣

4月1日に区内小学校全校へファックスし、申込のあった学校から先着順で実施校を決定した。
 募集時のバス台数:6台 実施校:大泉第六小学校、大泉第三小学校、大泉第一小学校

その他

I) 団体鑑賞(一般) 一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで、各担当学芸員が担当し実施した。

展覧会	在館予定	担当	団体名	参加者
シスレー展	9月30日(水) 10:30~11:30	真子	西東京市稲門会	10
	10月15日(木) 14:00~16:00	小野	NHK文化センター 柏教室	10
	10月21日(水) 10:30~12:00	小野	練馬シニアネットワーク 睦会	29
	10月28日(水) 14:00~	真子	練馬区立富士見台地区区民館	11
浜田浄展	12月10日(木) 10:30~11:30	真子	NHK文化センター 青山教室	19
				79

計5回 延79名

II) 団体鑑賞(外部企画) 外部からの持ち込み企画に際し、各担当学芸員が展覧会解説を行った。

展覧会	在館予定	担当	企画	参加者
シスレー展	9月30日(水) 18:30~20:00	小野	芸術新潮社 新潮講座 「この夏話題の美術展を貸切で！」	45
浜田浄展	1月10日(日) 13:30~14:30	真子	Tokyo Art Beat 親子でアートを楽しもう! @練馬区立美術館	12
				57

計2回 延57名

教育普及事業全参加者 計5,201名

(3) 美術作品の収集事業

平成27年度 美術作品の収蔵状況

(平成28年4月1日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
合計	31	269	190	1406	75	885	1	32	0	1	1	44	1	2561	299	5198	5497

平成28年4月1日現在
寄託作品 1464点

購入・寄贈・寄託計 6,961点

平成27年度練馬区立美術館寄贈・寄託リスト

■(1)購入 なし

■(2-1)寄贈作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	茨木衫風	潜水艦の出撃(下図)	1943年頃	紙本墨画	220.5×663
2	浦田正夫	城址	不詳	紙本着色	72.3×91.4
3	浦田正夫	風景(川口にて)	1931年	紙本着色	122×94.5
4	浦田正夫	水蓮	不詳	紙本着色	51.0×68.4
5	浦田正夫	野	不詳	紙本着色	52.3×72.5
6	レイモン・デュシャン＝ヴィヨン	水浴		紙、リトグラフ	34.2×26
7	野見山暁治	遊びにこない		キャンバス、油彩	30.5×39
8		Puppet Show	1998年	紙、銅版	25.3×31.7
9	小堀令子	砂上楼阁	2012年	紙 ペン	27×23.0
10		[抽象]	1976年	紙 ペン 水彩	23.6×37.5
11		[抽象]			34×38.2
12	aki bingo	[百合]		銅版	25×22
13	ムンク	[風景]		紙、エッチング	16.5×21.5
14		[群像]			26.7×35
15	オディロン・ルドン	CHRIST	1887年	リトグラフ	43×35
16	ジョルジュ・ルオー	[キリスト]	1922年	リトグラフ	65×51
17	ジョルジュ・ルオー	辱められたるキリスト	1922年	リトグラフ	65.2×50.5
18	駒井哲郎	[抽象]		紙 エッチング	38×56.8
19	シャガール	[燭台の前に立つ山羊髭の爺]		紙 エッチング 彩色	53.5×39.0
20	芹沢銈介	[いろは紋]		布 染色	70×70
21	渡辺恂三	[無題]	1972年	リトグラフ	47.5×29.5
22		ligne dire at	1976年	紙 リトグラフ	58.2×83.5
23	ジョルジュ・ルオー	[キリストの顔]		紙 リトグラフ	64.8×50.5
24		[1)2)3)A)B)]		紙 銅版	62×88.5
25	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
26	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
27	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
28	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
29	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
30	太齋春夫	[貴婦人像]		アルマイト、漆	161.0×89.7
31		[貴婦人像下図]	1934年頃	紙	30.0×91.5
32	太齋春夫	ざくろ	1943年	キャンバス・油彩	39.0×60.0
33	太齋春夫	[南方の娘]	1941年	キャンバス・油彩	43.9×44.0
34	太齋春夫	[農婦]		キャンバス・油彩	88.2×58.2
35	太齋春夫	カラジューム	1941年	キャンバス・油彩	51.4×43.9
36	太齋春夫	[風景]		キャンバス・油彩	23.7×33.0
37	太齋春夫	[二人の裸婦]		画布・漆	29.8 × 50.3

38	太齋春夫	東尋坊	1942年	キャンバス・油彩	60.5 × 72.5
39	太齋春夫	東尋坊	1942年	キャンバス・油彩	60.0 × 71.5
40	太齋春夫	[男性像]		キャンバス・油彩	45.0 × 38.0
41	太齋春夫	[女性像]		キャンバス・油彩	44.5 × 36.8
42	太齋春夫	王子風景	1942年	ボード・油彩	60.5 × 72.5
43	太齋春夫	風景(漆膜)	2590年 (1930)	板・油彩	24.9 × 33.0
44	太齋春夫	[裸婦]		板・油彩	22.4 × 31.6
45	太齋春夫	梅		紙本着色	42.2 × 54.2
46	太齋春夫	いたどり		紙本着色	30.5 × 46.5
47	太齋春夫	[橋]		板・モザイク	24.0 × 30.0 × 0.8
48	太齋春夫	[海辺]		板・油彩	21.6 × 26.9
49	太齋春夫	[夕焼け雲]		板・油彩	23.5 × 33.0
50	太齋春夫	[裸婦]		板・油彩	23.7 × 33.0
51	太齋春夫	[水差しと果物]		板・モザイク	21.0 × 26.0
52	太齋春夫	[岩場]		板・油絵	21.4 × 26.7
53	太齋春夫	[富士山]		板・油彩	31.4 × 40.6
54	太齋春夫	[灯台と海]		板・油彩	15.5 × 22.5
55	太齋春夫	[風景]		板・油彩	15.7 × 22.7
56	太齋春夫	[人のいる風景]		板・油彩	33.5 × 45.5
57	太齋春夫	[花]		金属、漆(モザイク)	45.2 × 52.8
58	太齋春夫	[海]		木材(板)	21.5 × 27.0
59	太齋春夫	[裸婦]		木材・板	26.7 × 17.6
60	太齋春夫	[日本海]		木材・板	21.9 × 26.9
61	太齋春夫	[山岳]		木材・板	24.0 × 33.2
62	太齋春夫	[日本海]		木材・板	21.6 × 27.0
63	太齋春夫	[風景]		画布・漆	23.8 × 33.0
64	太齋春夫	[ギター]		紙	37.3 × 28.8
65	太齋春夫	[青年像]		画布・漆	55.3 × 35.5
66	太齋春夫	[風景(山)]		板・油彩、漆	21.3 × 26.8
67	太齋春夫	[風景(山)]		板・油彩、漆	43.0 × 33.8
68	太齋春夫	[風景]		板・油彩、漆	24.2 × 33.0
69	太齋春夫	[風景]		板・油彩、漆	15.5 × 22.6
70	太齋春夫	[裸婦]		板・油彩、漆	33.0 × 24.0
71	太齋春夫	[風景]		板・油彩、漆	21.5 × 27.0
72	太齋春夫	[風景]		板・油彩、漆	23.5 × 33.0
73	太齋春夫	[風景]		板・油彩、漆	21.8 × 27.0
74	太齋春夫	[裸婦]		板・油彩、漆	21.2 × 27.0
75	太齋春夫	[自画像]		キャンバスボード・油彩	24.5 × 33.5
76	太齋春夫	[裸婦]		板・油彩、漆	24.0 × 33.0
77	太齋春夫	[自画像]	1926年1月	キャンバスボード・油彩	32.4 × 23.5
78	太齋春夫	[静物]		板・タイル	24.6 × 28.0
79	太齋春夫	[風景]		板	23.0 × 32.7
80	太齋春夫	[裸婦]		板	32.5 × 23.8

81	太齋春夫	[天使]		キャンバス・漆、裏に柿渋	23.3×21.3
82	太齋春夫	[浮世絵]		漆・紙	39.3×24.1
83	太齋春夫	[静物]		板に漆	42.5×32.2
84	太齋春夫	小物入れ		金属に漆	7.5×7.2×1.8
85	太齋春夫	箱		木に漆	10.4×10.4×4.4
86	太齋春夫	箱		木・漆・卵の殻	28.7×35.7×13.0
87	太齋春夫	盆		漆、アルマイト	28.8×4.3
88	太齋春夫	一輪挿し		木・漆	2.3×2.3×9.0
89	太齋春夫	カード入れ		金属に漆	8.3×15.6×1.0
90	太齋春夫	装飾品		木・漆	4.5×4.5×0.7
91	太齋春夫	装飾品		木・漆	4.5×4.5×1.0
92	太齋春夫	装飾品 魚		木・漆	3.2×7.3×0.3
93	太齋春夫	筆皿		木・漆・金属	24.8×8.9×1.3
94	太齋春夫	東大寺 日之丸 盆	1942年	木・漆	直径43.0 × 高1.3
95	太齋春夫	箱		木・漆	11.3 × 20.0×8.0
96	太齋春夫	皿		磁器	径24.5×高2.5
97	太齋春夫	皿		磁器	径24.0×高3.5
98	太齋春夫	皿		磁器	径24.3×高2.8
99	太齋春夫	皿		磁器	径24.5×高3.3
100	太齋春夫	皿		板・油彩、漆	径24.0×高3.0
101	太齋春夫	楓(盆)			径53.3×高2.3
102	太齋春夫	盆(鹿模様)			径53.3×高2.3
103	太齋春夫	茗荷(盆)			径43.7×高2.5
104	太齋春夫	盆		木・漆	径30.0×高2.4
105	太齋春夫	盆		木・漆	径30.2×高2.4
106	太齋春夫	[植物を持つ女性と二童子]		木・漆	径21.3
107	太齋春夫	[植物文様飾り板]		木・漆	24.5×24.3×0.6
108	太齋春夫	[静物]		キャンバス・漆	16.0×15.0
109	太齋春夫	[植物、花]		キャンバス・漆	20.0×8.0
110	太齋春夫	[立美人図]		紙・漆	23.5×13.8
111	太齋春夫	[風景]		キャンバス・漆	17.0×19.0
112	太齋春夫	[抽象構成]		キャンバス・漆	17.0×12.3
113	太齋春夫	[水鳥]		紙・漆	11.8×15.0
114	太齋春夫	[鳥]		紙・漆	17.0×12.3
115	太齋春夫	[リンゴを持つ裸婦]		紙・漆	15.5×9.3
116	太齋春夫	[キュビズム風人物像]		紙・漆	14.2×7.3
117	太齋春夫	[植物]		板・漆	18.0×14.0
118	太齋春夫	[風景]		木・漆	17.0×20.0
119	太齋春夫	[肖像]		木・漆	26.8×20.6
120	太齋春夫	[風景]		紙・漆	24.0×18.6
121	太齋春夫	ADMIRAL TOGO		紙・漆	32.1×24.4
122	太齋春夫	[キュビズム風静物]		キャンバス・漆	9.5×14.5
123	太齋春夫	[抽象構成]		紙・漆	20.0×12.2
124	太齋春夫	[構成]		紙・漆	14.5×22.0
125	太齋春夫	太齋春夫遺物		和紙	
126	太齋春夫	アクリル器		アクリル、漆	40.7(径)×9.0
127	太齋春夫	高台皿		アルマイト、漆、卵の殻	34.1(径)×12.5
128	津田青楓	自像		板・油彩	33.0 × 24.0
129		太齋春夫像		板・油絵	32.8×23.5

130	小林猶治郎	人間 No. 11	1930年	キャンバス、油彩	73×90
131	小林猶治郎	三味線と一味	1930年	キャンバス、油彩	46×137
132	小林猶治郎	タイトル不詳(おめでたふ)	1930年	綿布彩色	122×84
133	小林猶治郎	群像	1935年	板、彩色	33×23
134	小林猶治郎	乗物盡し	1935年	板、彩色	33×23
135	小林猶治郎	軌	1956年	キャンバス、油彩	46×61
136	小林猶治郎	素描写生行脚	1985年	キャンバス、油彩	99×80
137	小林猶治郎	静閑	1949年	キャンバス、油彩	38×71
138	小林猶治郎	人間 No.3	1927年	キャンバス、油彩	60.5×60.5
139	柳田久	台鉢、ガラス器などの静物		キャンバス、油彩	73.0×60.8
140	柳田久	善福寺風景		キャンバス、油彩	
141	柳田久	倉庫の見える町		キャンバス、油彩	
142	俵有作	宙(まくり12枚)	1998年	リトグラフ	38.0×57.0
143	関野 準一郎 ほか	榛の会 作品集第13(はがき49枚)	1947年	版画	ハガキ
144	稲垣 稔次郎 ほか	榛の会 作品集第14(はがき48枚)	1948年	版画	ハガキ

■(2-2)寄贈資料

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	吉川 霊華	資料(写生帖38冊)	不詳		
2	吉川 霊華	資料(3素描模写まくり等167枚)	不詳		
3	吉川 霊華	資料(模本まくり7件)	不詳		
4	吉川 霊華	資料(模本卷子10巻)	不詳		
5	吉川 霊華	資料(葉書その他4件)	不詳		
6	吉川 霊華	資料(歴史人物3素描1綴22枚)	不詳		
7	吉川 霊華	資料(歴史人物模写1綴37枚)	不詳		
8	太齋春夫	習作まくり等17点一括			
9	太齋春夫	仕掛け品等18点一括			
10		太齋春夫旧蔵鞆1点			
11		書簡・写真・書類一括			
12	太齋春夫	スケッチブック8冊			
13	太齋春夫	小型スケッチブック22冊			
14	太齋春夫	戦地関係スケッチ・色紙一括			
15	太齋春夫	素描・下絵類Ⅰ 一括			
16	太齋春夫	素描・下絵類Ⅱ 一括			
17		スクラップブック・雑誌切抜 一括			
18		太齋春夫関係印刷物一括			

■(3-1)寄託作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	小林清親	写生帖(画帖・9冊)	1878年～ 1913年	紙・水彩	各14.0×22.3
2	小林清親	清親自画伝(画帖・1冊)	1913年	紙・墨	9.0×14.0

■(3-2)寄託資料

なし

(4) ぐるっとパスの利用状況

① 平成 27 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」は、都内の美術館・博物館などの入場券または割引券を 1 冊に綴ったチケットブックで、平成 27 年度は 78 の施設が対象施設として参加した。当館も、観覧者と収入の増を見込んで、平成 23 年度から対象施設として参加している。

価格は 1 冊 2,000 円（使用開始日から 2 か月間有効）で、各対象施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。

平成 27 年度は、パス 455 冊（上半期 272 冊、下半期 183 冊）を売り上げた。

また、パスの所持者 3,280 人が当館を利用した。

※ 平成 26 年度は、パス売り上げ 139 冊、パス所持者 1,789 人が来館

② 平成 27 年度ぐるっとパスの収支

(A) 収入 …… 693,408 円（平成 26 年度；425,377 円）

① 販売歩合 売上の 5% @2,000×455 冊×5%=45,500 円

② 配分金 パス利用の入館者数（3,280 人）に応じた配分金 497,908 円

③ 負担金返還 150,000 円

(B) 支出 …… 150,000 円

① 参加負担金 150,000 円

※ 収入(A) - 支出(B)

693,408 円 - 150,000 円 = 543,408 円

※ 前年比 268,031 円の増

(平成 26 年度 275,377 円)

(5) 平成 27 年度 広報活動と反響

1 広報活動の取り組み

《方針》多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。

コレクションを使った常設展（小規模展）の広報も積極的に行う。

(1) 展覧会のチラシ・ポスターの制作・配付

(2) 「美術館ニュース」の発行（年 1 回）

(1)、(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送。

展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼。

(3) 美術館ホームページ

平成 23 年 7 月からブログ開始。

平成 27 年 4 月 1 日から区のページとは別に、練馬区文化振興協会による美術館ホームページを新たに開設。最新の情報をいち早く発信するとともに、過去の展覧会情報やイベントのレポートなど、これまでの美術館の活動の情報も充実させ、区の時代以上に情報発信ツールとして活用していく。

(4) マスコミへの情報発信

新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。

27 年度の小林清親展、舟越保武彫刻展、アルフレッド・シスレー展、浜田浄展、国芳イズム展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。

(5) 交通広告

年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。

企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等を実施。

平成 26 年度に引き続き、27 年度もみどりバスへのポスター掲出を実施。

(6) 新聞広告

アルフレッド・シスレー展で実施。

(7) テレビ放送

テレビ東京「出沒！アド街ック天国」（11 月 7 日 21：00～放送）にて「中村橋」が特集され、ランキングの第 2 位に美術の森緑地と合わせて美術館が登場。

「美術館のある街」として、中村橋の魅力発信、地域活性化に大きく貢献。

(8) その他

ぐるっとパス 平成 23 年度から実施。

ミュージーぽん 平成 22 年 12 月 2 日から実施。

2 平成 27 年度展覧会に対する反響

(1) 開館30周年記念 小林清親展 ー文明開化の光と影をみつめてー

(平成 27 年 4 月 5 日～5 月 17 日)

<p><テレビ></p> <p>NHK 新日曜美術館 2 月 22 日、3 月 1 日 (再放送)</p> <p>TOKYO MXTV 「美術館へ行こう」 4 月 23 日</p>	
<p><ラジオ></p> <p>TOKYO FM ブルーオーシャン 4 月 13 日</p>	
<p><新聞></p> <p>日本経済新聞 2 月 5 日夕刊 15 日朝刊 3 月 15 日朝刊 3 月 31 日夕刊 4 月 2 日夕刊 4 月 19 日朝刊 5 月 7 日夕刊</p> <p>東京新聞 4 月 18 日朝刊 東京新聞ほっとなび</p> <p>読売新聞 4 月 23 日朝刊</p> <p>産経新聞 4 月 16 日</p> <p>朝日新聞 4 月 1 日、15 日夕刊</p> <p>房日新聞 4 月 27 日 函館新聞 4 月 25 日</p> <p>徳島新聞 5 月 9 日</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>一枚の繪 5 月号</p> <p>美術の窓 4、6 月号</p> <p>展覧会ガイド</p> <p>芸術新潮 4 月号</p>	<p><雑誌></p> <p>東京人 5 月号</p> <p>週刊文春 6 月 4 日号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>メディア・あさお 5 月号</p> <p>「池袋 15'」 4 月号</p> <p>定年時代 4 月下旬号</p> <p>池袋情報誌びいーゆ 4 月号</p> <p>月刊武州路 4 月号</p>	<p>茨城フリーペーパー月刊 ezpress 4 月号</p> <p>asacoco 4 月号</p> <p>ぱど 3 月 27 日号</p> <p>ネリクリ 04</p> <p>月刊 Kacce 4 月号</p>
<p><WEB></p> <p>日本美術倶楽部</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>ぶらり美術館</p> <p>練馬経済新聞</p> <p>G-Call</p> <p>個展なび</p> <p>ART 公募</p>	<p>Media & Communication</p> <p>Migle</p> <p>ぴあポイントサイト</p> <p>ちらしミュージアム</p> <p>ミュージアムカフェ</p> <p>青い日記帳</p> <p>はろるど</p> <p>クラブ・ウィルビー 他</p>

(2) 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術 3

牧野邦夫〔インパール〕を中心に (平成 27 年 5 月 22 日～6 月 30 日)

<新聞>	
定年時代 平成 27 年 6 月上旬号	
<地域情報誌>	
月刊 Kacce6 月号	
<WEB>	
インターネットミュージアム	今見られる全国のおすすめ展覧会 100
練馬経済新聞	他

(3) 「N+N 展 2015 The 彫刻—Nichigei 彫刻の現在」

(平成 27 年 6 月 11 日～6 月 30 日)

<地域情報誌>	
西武ニュース 笑顔びより	
<WEB>	
練馬経済新聞	

○貼り広告の実施

西武池袋線 池袋駅・江古田駅・所沢駅各 2 枚 (B 1 サイズポスター)

(4) 開館30周年記念 舟越保武彫刻展 —まなざしの向こうに—

(平成 27 年 7 月 12 日～9 月 6 日)

<テレビ>	
BS 日テレ 「ぶらぶら美術・博物館」 8 月 21 日	
<新聞>	
日本経済新聞 8 月 22 日 (行啓)	
毎日新聞 8 月 17 日夕刊	
朝日新聞 8 月 26 日夕刊	
読売新聞 6 月 29 日朝刊、7 月 7 日朝刊、8 月 10 日夕刊、 8 月 5 日、14 日、19 日 (連載)、8 月 22 日 (行啓)、	
産経新聞 8 月 30 日朝刊	
公明新聞 8 月 19 日	都政新報 7 月 28 日
いきいき新聞 6 月 30 日	所沢市民新聞 7 月 17 日
<美術雑誌>	<雑誌>
月刊美術 7 月号	ミセス 9 月号
美術の窓 7 月号	
地域創造レター 8 月号	
<地域情報誌>	
ネリクリ 05	茨城フリーペーパー月刊 ezpress 7 月
池袋情報誌びいーゆ 7 月号	号

定年時代 8月上旬号	月刊 Kacce7. 8月号
<WEB>	
インターネットミュージアム	ぐるっとパスナビ
個展なび	タイムアウト東京
クリスチャントウデイ	ミュージアムカフェ
ぴあポイントサイト	青い日記帳
ぶらり美術館	はろるど
G-C a l l	クラブ・ウィルビー
	他

(5) 開館30周年記念 アルフレッド・シスレー展—印象派、空と水辺の風景画家—
(平成27年9月20日～11月15日)

<テレビ>	
NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」10月4日 9:45～	
TOKYO MX「アート・ステージ画家たちの美の饗宴」10月18日 11:00～11:30	
テレビ東京 「出沒！アド街ック天国」 11月7日 21:00～	
<新聞>	
毎日新聞 9月4日朝刊、9月9日朝刊、9月17日朝刊、9月20日朝刊、9月29日朝刊 美術館9月8日～（毎週火曜）、10月1日朝刊、10月3日朝刊、10月16日夕刊、10月19日夕刊	
朝日新聞 夕刊マリオン欄 9月16日～（毎週水曜）、11月4日夕刊	
読売新聞 夕刊 cityblife 9月29日～（毎週火曜）、（福岡版）夕刊ナビぷらす 9月17日～（毎週木曜）	
聖教新聞 10月28日	
いきいき新聞 8月31日	
the JAPAN TIMES 9月30日	足立朝日新聞 10月5日
社会新報 10月14日	定年時代 9月24日
<美術雑誌>	<雑誌>
美術の窓 10月号	毎日婦人 8月号
月刊アートコレクターズ 10月号	週刊新潮 9月24日発売号
月刊展覧会ガイド 10-11月号	日経おとなのOFF 10月号
月刊ギャラリー9月号	Are You Happy?12月号（幸福の科学）
	婦人公論 10月27日号
	メディカルクォール 11月号
	懸賞なび 10月号

<地域情報誌>	
Confetti 9月号 英文月刊誌 Eye-Ai10月号 池袋情報誌びいーゆ 9月号 「池袋15'」10月号	ユーラシアニュース 10月号茨城フリーペーパー月刊 ezpress9月号 ネリクリ 06 ねりまファミリーパック 10・11月号
<WEB>	
CJキューブ展覧会 チラシミュージアム Art Annual online 新美術新聞 G-CALL 個展なび migle ぴあポイントサイト CINRA.NET ミュージアムカフェ ぶらり美術館	ぐるっとパスナビ Fashion Press 集英社ハピプラアート anan ニュース 宝島スプリング 日本美術倶楽部 練馬経済新聞 クラブ・ウィルビー はろるど 他

(6) 浜田浄の軌跡ー重ねる、削る 絵画ー

(平成27年11月21日～平成28年2月7日)

<テレビ>	
J:com デイリーニュース 12月4日 TOKYO MX「アート・ステージ～画家たちの美の饗宴～」 1月17日 (1月23日再放送)	
<新聞>	
毎日新聞 11月17日、24日 東京新聞 11月19日	新美術新聞 12月1・11号 東洋経済日報 12月4日
<美術雑誌>	
アートコレクターズ 12月号 月刊美術 12月号 美術の窓 12月号	美術手帖(ART NAVI) 12月号 地域創造レター 1月号 ギャラリー 1月号
<地域情報誌>	
月刊 Kacce 11、12、1月号 池袋情報誌びいーゆ 12月号 池袋15' 2月号	茨城フリーペーパー月刊 ezpress12月号 月刊武州路 12、1月号
<WEB>	
TOKYO ART BEAT ソロ活 migle ぴあポイントサイト ぶらり美術館 G-Call	ぐるっとパスナビ JR おでかけネット ミュージアムカフェ kalons:現代アートのレビューポータル Art Agenda 東京の観光公式サイト GO TOKYO

個展なび	ホルバインアーティストナビ	他
------	---------------	---

(7) 国芳イズム－歌川国芳とその系脈 武蔵野の洋画家 恵俊彦コレクション

(平成 28 年 2 月 19 日～平成 28 年 4 月 10 日)

<テレビ>	
〈日テレ〉ズームインサタデー 4月9日(土)	
<新聞>	
日経新聞 12月12日夕刊オフナビ	
東京新聞 1月4日ほっとなび、2月3日、2月18日、 2月19日、2月27日、3月7日、4月8日夕刊	
毎日新聞 2月6日、3月4日、3月28日夕刊	
朝日新聞 2月12日マリオン読者プレゼント、3月30日夕刊	
読売新聞 3月3日	
日経新聞 2月26日がいど・ガイド	
産経新聞 2月28日	
上毛新聞 2月29日、3月19日	都政新報 3月8日
足立朝日新聞 2月5日	定年時代 3月下旬号
長野市民新聞 3月19日	赤旗新聞日曜版 3月20日
神奈川新聞 3月21日	
<美術雑誌>	<雑誌>
月刊ギャラリー 2月号	日経おとなのOFF 1月号
美術手帖(ART NAVI) 3月号	おとなのおしゃれ手帖 3月号
美術の窓 4月号	いけ花龍生 2月号
芸術新潮 3月号	懸賞なび 3月号
芸術新潮 4月号	
<地域情報誌>	
月刊 Kacce 2月号	茨城フリーペーパー月刊 ezpress 2月号
池袋情報誌びいーゆ 3月号	月刊武州路 3月号
池袋15' 3月号	月刊新松戸 2月1日号
月刊美術 3月号	Morgen 2月号
月刊日本橋 2月号	
<WEB>	
TOKYO ART BEAT	ぐるっとパスナビ
インターネットミュージアム	JR おでかけネット
C I N R A . N E T	ミュージアムカフェ
migle	kalons : 現代アートのレビューポータル
ぴあポイントサイト	ル
ぶらり美術館	Art Agenda
G-C a l l	club will be ホームページ

個展なび

C J キューブ

美術 ACADEMY&SCHOOL ブログ

練馬経済新聞

A R T 公募

東京の観光公式サイト GO TOKYO

青い日記帳

今見られる全国のおすすめ美術館 100

和楽公式サイト

bitecho

他

2 平成28年度 事業計画

(1) 展覧会事業

平成28年度 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月17日 6月5日 <43日間>	【有料】 没後50年“日本のルソー”横井弘三の世界展				喜多
6月10日 6月19日 <9日間>	【無料】 第62回練馬区美術家協会展		6月10日 6月26日 <15日間>	【無料】 『練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術4 1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled92-8》 を中心に』	真子
6月21日 6月26日 <6日間>	(一般貸出)				
7月3日 9月4日 <55日間>	【有料】 しりあがり寿の現代美術 回・転・展				真子
9月18日 11月13日 <50日間>	【有料】 朝井閑右衛門展 空想の饗宴				喜多
11月19日 1月12日 <42日間>	(一般貸出)				
1月14日 1月18日 <4日間>	中学校生徒作品展		11月19日 2月12日 <69日間>	【有料】 栗津則雄コレクション展 “思考する眼”の向こうに	加藤
1月21日 1月26日 <5日間>	小学校連合同工展				
1月28日 1月29日 <2日間>	小中学校連合同書きぞめ展				
2月4日 2月12日 <8日間>	【無料】 第48回練馬区民美術展				
2月23日 4月9日 <40日間>	【有料】 お蔵出し！ 練馬区立美術館コレクション展	小野	2月23日 4月9日 <40日間>	【有料】 田沼武能肖像写真展 と ^{とき} 時代を刻んだ ^{かお} 貌	加藤

① 没後 50 年 “日本のルソー” 横井弘三の世界展 — 開催要項

- 1 開催趣旨

横井弘三（1889～1965）は、1915年（大正4）の第2回二科展に初出品し、期待の新人画家に贈られる第1回樗牛賞を受賞するなど、はやくから作品が認められた。彼の作品は人を微笑ませるのびやかな魅力をもち、当時は“日本のアンリ・ルソー”とも呼ばれ、高い評価を受けている。しかし、1923年（大正12）の関東大震災をきっかけに、横井は「理想展」と呼ぶ無鑑査、自由出品のアンデパンダン展を自ら組織するなど自分だけの表現を追い求め、中央画壇から離れ、次第にその名は忘れられ現在に至っている。

多くの作品が愛好家による個人所蔵であるため、まとってみる機会が少ない横井作品。本展では、没後50年を機に、200点以上の作品を一堂に会し、いまだ明らかでない横井の画業を総合的に検証した。
- 2 会 期 平成28年4月17日（日）～6月5日（日）
巡回先 長野県信濃美術館 ※平成27年に開催済
- 3 主 催 練馬区立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協 賛 ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、損害保
険ジャパン日本興亜株式会社、日本テレビ放送網株式会社
協 力 横井弘三とオモチャン会
- 4 内 容 油彩、漆絵、焼き絵等 210点
- 5 図 録 制作 （2,200円） 570冊販売 購入率8.6%
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 対談（スズキコージ・土井章史）、講演会（矢島新：跡見学園女子大
学教授）、ワークショップ、読み語り（銀河万丈）、ギャラリート
ーク（黒田弘志、羽田睦美）、学芸員によるギャラリートーク（2回）
記念コンサート（佐橋美起：ソプラノ、多田直子：ピアノ）
- 8 観覧者数 6,637人（154人／日） 当初見込 7,955人（185人／日）
- 9 担 当 学芸員 喜寿 孝臣

② 区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術 4

「1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled92-8》を中心に」 — 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区立美術館の開館 30 周年に際し3回に渡り開催してきたコレクション展最終回。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、同時代の作品を同列に眺めることで見えてくる時代性を提示。

近現代の日本の作家を中心に収集されてきた当館の所蔵品約 6,700 点（寄託作品含む）のなかから、今回は 1990～2000 年代に焦点を当て、辰野登恵子を中心に、浅見貴子、石原友明、岡村桂三郎、久野和洋、須田悦弘、寺田真由美、津田一江、森脇正人、淀井彩子らの作品約 40 点を展示した。
- 2 会 期 平成 27 年 6 月 10 日（金）～6 月 26 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 絵画、版画、立体作品等 40 点
- 5 図 録 リーフレット（A 3 二ツ折）を作成・無料配布
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント ①ギャラリートーク（1 回開催）
②鑑賞プログラム「トコトコ美術館」（6 回開催）
- 8 観覧者数 2,776 人（185 人／日） 当初見込 2,250 人（150 人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子みほ

③ しりあがり寿の現代美術 回・転・展 — 開催要項

- 1 開催趣旨

しりあがり寿氏（1958～）は、朝日新聞に連載中の「地球防衛家のヒトビト」や「弥次喜多 in DEEP」をはじめ、数多くの独特の批評精神に満ちたギャグ漫画で知られている。その仕事は文芸春秋漫画賞や手塚治虫文化賞・優秀賞を受賞するなど高い評価を得ており、最近では、東日本大震災後の日本をテーマにした漫画集「あの日からのマンガ」が大きな話題となった。その一方で、墨絵、アニメーションなどの手法を用いて、自身の漫画と関連しながらもそれ自体で自律した現代アート作品を発表し、近年は、様々な日用品などを回転させる一連のインスタレーションも展開させている。

自身初の美術館での個展となる本展では、これまでの多様な仕事に触れつつ、回転インスタレーションを中心に新作を展示。日常の事物、映像など多岐にわたる品々を様々な方法でひたすら回転させ、シンプルな動きの中に、命を吹き込む生命感、固定概念の破壊、関係性を喪失した空虚さなど多面的な意味を投げかけた。漫画家しりあがり寿とは一味違う、新しい「しりあがり寿ワールド」を体感する展覧会となった。
- 2 会 期

平成 28 年 7 月 3 日（日）～9 月 4 日（日）

巡回先 刈谷市美術館 平成 28 年 9 月 17 日（土）～11 月 6 日（日）
伊丹市立美術館 平成 29 年 1 月 14 日（土）～3 月 5 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館、朝日新聞社
後 援 テレビ朝日、BS 朝日
- 4 内 容 マンガ原画、墨絵、インスタレーション 82 点
- 5 図 録 制作（2,300 円 朝日新聞社、求龍堂） 536 冊販売 購入率 4.5%
- 6 観 覧 料 800 円
- 7 イベント ギャラリートーク 2 回、対談 1 回、鑑賞プログラム「トコトコ美術館」（4 回）、ワークショップ（4 種 11 回）
- 8 観 覧 者 11,682 人（208 人／日） 当初見込 11,000 人（200 人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子みほ

④ 朝井閑右衛門展 空想の饗宴 — 開催要項

- 1 開催趣旨

朝井閑右衛門は、1926年（大正15）の第13回二科展に初入選した後、光風会を中心に作品を発表しました。1936年（昭和11）の文部省美術展覧会には、謎めいた群像の大作《丘の上》を発表し、文部大臣賞を受賞。一躍画壇の寵児となります。

戦後は、既成の画壇から距離をとりつつ、電線、薔薇、ガラス台鉢、ドン・キホーテ、道化や詩人たちの肖像など、同じモチーフを何度も繰り返しかえし描き続けて独自の絵画世界を生み出しました。

田浦や鎌倉に長く住んだことが知られる朝井ですが、初期の代表作《丘の上》は、練馬にあったアトリエ長屋在住の時期に描かれた作品であり、朝井閑右衛門は練馬ゆかりの作家でもあります。本展では、初期から晩年まで、写実と幻想の挟間で制作を続け、独自の地歩を築いた朝井の画業の全貌をご紹介します。
- 2 会 期 平成28年9月18日（日）～11月13日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協 賛 ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、日本テレビ放送網株式会社
協 力 横須賀美術館
- 4 内 容 油彩・水墨画等資料も含め 119点
- 5 図 録 制作 （2,000円）
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 講演会(原田光：元岩手県立美術館館長)、ワークショップ、赤ちゃん鑑賞会、読み語り(銀河万丈)、学芸員によるギャラリートーク(2回)、記念コンサート(羽川真介：チェロ、渚智佳：ピアノ)
- 8 観覧者見込 13,500人（270人／日）
- 9 担 当 学芸員 喜多 孝臣

⑤ 栗津則雄コレクション展“思考する眼”の向こうに ― 開催要項

- 1 開催趣旨 あわづのりお 栗津則雄氏（1927 生）はオディロン・ルドンやパウル・クレーなど芸術家の評伝をはじめ、アルチュール・ランボーやカフカといった詩人・哲学者の訳書や評論など、フランスの文学、美術、音楽に対し深い造詣を持ちながら、正岡子規や萩原朔太郎、西行にも高い関心を抱き、研究・評論をつづけてきた。
当館は平成 26 年度に栗津氏の収集した美術品の数々、約 100 点の一括寄贈を受けた。
その中には評論・評伝の中で取り上げたルドンやジョルジュ・ルオー、アントニー・クラヴァエの版画、著作の表紙を飾った駒井哲郎、柄澤齊、親しく交流した麻田浩、池田満寿夫らの作品が含まれている。
それらは、長年に亘り書齋に飾られた愛蔵の品で、栗津氏の眼、表現とともに歩み、その思考の一端を読み取ることができる意義深い作品ばかりである。
2006 年より出版が続いていた栗津則雄著作集（思潮社）が完結することを機に当館所蔵の栗津コレクションの中から選りすぐりの作品、約 50 点を紹介するものである。
- 2 会 期 平成 28 年 11 月 19 日（土）～平成 29 年 2 月 12 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 版画、油彩画、立体など 50 点
- 5 図 録 制作予定
- 6 観 覧 料 300 円
- 7 イベント 記念講演会、ギャラリートークほか
- 8 観覧者見込 8,970 人（130 人／日）
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

⑥ 田沼武能肖像写真展 ^{とき} 時代を刻んだ貌 ^{かお} — 開催要項

- 1 開催趣旨 写真家、田沼武能（たぬま・たけよし、1929 生）は東京・浅草の生まれ。東京写真工業専門学校卒業後、木村伊兵衛に師事。戦後、東京、下町に生きる子供たちのたくましさや明るさを活写。これに端を発し、世界中の子供達の姿を撮影した『すばらしい子供たち』（1975 年）『遊べ子供たち』（1978 年）でモービル児童文化賞、菊池寛賞などを受賞。110 カ国以上を回って子供たちの姿、表情を撮影する写真家として広く知られている。こうした功勞により、1995 年には日本写真家協会会長（～2015 年）に就任。2003 年には文化功勞者に選ばれている。
- そうした活動の一方で、『芸術新潮』の「芸術院会員の表情」や『タイムライフ』などの仕事をする中で、昭和の文壇、文化・芸術を担った著名人たちの“貌”を長年に亘り撮りつづけてきた。
- 「人間大好き人間」を標榜する田沼がとらえた人々の表情には、被写体をめぐり出す鋭さとともに、温かで豊かな想いが投影されている。
- 本展は、三島由紀夫や森光子、小澤征爾など時代を代表する文化人、著名人らのポートレートに加え、野見山暁治、奥田元宋など練馬ゆかりの美術家たち、100 点の肖像写真で構成する展覧会である。
- なお、この展覧会は練馬区立石神井公園ふるさと文化館分室との同時開催となる。
- 2 会 期 平成 29 年 2 月 23 日（木）～4 月 9 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館、朝日新聞社
- 4 会 場 練馬区立美術館 2 F 展示室
練馬区石神井公園ふるさと文化館分室
- 5 内 容 写真 100 点（うち、ふるさと文化館分室 20 点）
- 6 図 録 制作する
- 7 観 覧 料 500 円 *同時開催の所蔵コレクション展と共通観覧料
- 8 観覧者見込 7,200 人（180 人／日）
- 9 イベント 記念講演会、アーティストトーク ほか
- 10 担 当 学芸員 加藤陽介

⑦ お蔵出し！練馬区立美術館コレクション展 ー開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区立美術館は、2015年に開館30年という記念の年を迎えた。中村善策の油彩画《池畔新緑》(1978年)をコレクション第1号として収蔵してから、この30年にわたって「日本近現代美術」を中心に作品を蒐集してきた。その数は、寄託作品も合わせ、約6700点にのぼる。作品購入が厳しくなった現在でも、収蔵作品は毎年増え続け、また蒐集ジャンルも江戸絵画、西洋美術と少しずつ広がっている。美術館の核である収蔵作品の充実は、歴代学芸員の熱心な蒐集活動に裏打ちされたものであるが、同時に貴重な作品をご寄贈・ご寄託くださった方々のご厚意によっても支えられていることは言うまでもない。

今回は、コレクション約6700点から、江戸・明治の絵画、現代の美術、新収蔵作品や「館長の選ぶ1点」、など、様々な視点から厳選した約120点を紹介する。練馬区立美術館のコレクションを気軽に楽しんでもらうと同時に、お客様にそれぞれの1点を見つけてもらいたい。

尚、このコレクション展開催にあわせて、13年ぶりに収蔵作品目録を発行予定。

*会場は3階展示室のみ。
- 2 会 期 平成29年2月23日(木)～4月9日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、日本画、版画、下図、スケッチなど計120点程度
- 5 図 録 制作しない。収蔵品目録を制作。
- 6 観 覧 料 500円 *同時開催の田沼武能展と共通観覧料
- 7 イベント 講演会、コンサートなど予定。
- 8 観覧者見込 7,200人(180人/日)
- 9 担 当 学芸員 小野寛子

(2) 教育普及事業 (中間報告)

平成28年度 教育普及事業計画(案)

平成28年10月15日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	横井弘三展関連ワークショップ 「はがきサイズの焼き絵に挑戦！」 講師:加藤雄三、金澤鮎香(株式会社白光)	4月17日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学3年生 以上	各回 12名	16名
2	横井弘三展関連ワークショップ 「修正液で版画ができる?短時間で作るスピード木版画」 講師:田嶋健(版画家)	4月24日(日) 10:30~12:30、14:00~16:01	2	小学生 以上	各回 15名	27名
3	しりあがり寿展関連ワークショップ 「回転工作☆身近な材料で回る仕組みを作ってみよう」 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月5日(金)、6日(土) 10:30~12:30、14:00~16:00	4	小学生	各回 15名	53名
4	しりあがり寿展関連ワークショップ 「回るものにはなにがある?みんなで作る回転オブジェ」 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月7日(日)、12日(金) 10:30~12:30、14:00~16:00	4	小学生	各回 10名	23名
5	しりあがり寿展関連ワークショップ 「グルグル描こう!回ってるモノ、見てるヒト。」 講師:しりあがり寿	8月13日(土) 13:30~17:00	1	小学生以上	15名	15名
6	朝井閑右衛門展関連ワークショップ「丘の上を踊ろう」 講師:新舗美佳(ほうほう堂)	10月2日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	3~6歳+保護 者	各回 5組	6組 12名
7	朝井閑右衛門アトリエ探訪 講師:喜多孝臣(当館学芸員)	10月15日(土) 10:00~、14:00~	2	中学生以上	各回 15名	—
8	朝井閑右衛門展関連ワークショップ「丘の上を踊ろう」 講師:新舗美佳(ほうほう堂)	10月16日(日) 10:30~17:00	1	小学生以上	15名	—
9	朝井閑右衛門展関連美術講座「油彩 厚塗り入門」 講師:三浦高宏(画家)	11月5日(土)・6日(日) 10:30~17:00	1 (2日間)	中学生以上	15名	—
10	栗津コレクション展関連美術講座「エッチング+リトグラフ」 講師:岡さなえ(版画家)	1月28日(土)・29日(日) 10:30~17:00	1 (2日間)	中学生以上	15名	—
11	コレクション展関連図書館との共催ワークショップ 講師:真子みほ(当館学芸員)、貫井図書館職員	2月26日(日)13:30~16:00	1	小学生以上	20名	—
12	田沼武能展関連美術講座「写真」 講師:未定	3月	1 (2日間)	中学生以上	15名	—

② ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	横井弘三展	4月24日(日)、28日(木)、5月26日(木)14:00~	3	自由参加	—	108名
2	コレクション展	6月18日(土)14:00~14:30	1	自由参加	—	45名
3	しりあがり寿展	7月14日、8月18日(木) 15:00~	2	自由参加	—	34名
4	朝井閑右衛門展	10月6日(木)、27日(木)15:00~	2	自由参加	—	—
5	栗津則雄コレクション展	11~2月	1	自由参加	—	—
6	コレクション展	2~4月	4	自由参加	—	—
7	田沼武能展	2~4月	1	自由参加	—	—

③ コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	横井弘三展 記念コンサート 演奏者:佐橋美起(ソプラノ)、多田直子(ピアノ)	5月15日(日)15:00～	1	自由参加	—	96名
2	横井弘三展関連 銀河万丈読み語り	5月21日(土)15:00～	1	中学生以上	70名	67名
3	しりあがり寿展関連 銀河万丈読み語り	8月28日(日)15:00～	1	中学生以上	70名	77名
4	朝井閑右衛門展記念コンサート	10月22日(土)15:00～	1	自由参加	—	—
5	朝井閑右衛門展関連 銀河万丈読み語り	11月5日15:00～	1	中学生以上	70名	—
6	粟津則雄コレクション展	未定	未定	自由参加	—	—
7	田沼武能展	未定	未定	自由参加	—	—

④ 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	コレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ:くだもの	6月11日(土)、12日(日)、19日(日) 10:30～12:00、14:00～15:30	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組	29組 58名
2	しりあがり寿展関連 トコトコ美術館 テーマ:かいてん	7月30日(土)、31日(日) 10:30～12:00、14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	18組 36名
3	朝井閑右衛門展関連 あかちゃん鑑賞会 講師:富田めぐみ(NPO赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	10月9日(日) 10:30～12:30、13:30～15:00	2	0～2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 20名	29名
4	粟津則雄展関連 トコトコ美術館 テーマ:はなが	1月20日(土)、21日(日) 10:30～12:00、14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	—
5	コレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ:はな	3月	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組	—

⑤ 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	横井弘三展対談「横井弘三じいちゃんの絵のはなし」 講師:スズキコージ(絵本画家)、土井章史(絵本編集者)	5月14日(土)15:00～	1	中学生 以上	70名	76名
2	横井弘三展記念講演会「横井弘三の素朴絵」 講師:矢島新(跡見学園女子大学教授)	6月4日(土)15:00～	1	中学生 以上	70名	55名
3	しりあがり寿展関連 対談 しりあがり寿×祖父江慎(デザイナー)	7月16日(日)15:00～	1	中学生以上	70名	75名
4	朝井閑右衛門展 講師:原田光(元岩手県立美術館館長)	10月1日(土)15:00～	1	中学生以上	70名	39名
5	粟津則雄コレクション展講演会「絵とのつきあい」 講師:粟津則雄	12月3日(土)15:00～	1	中学生以上	70名	—
6	コレクション展	未定	1	中学生以上	70名	—
7	田沼武能展	未定	1	中学生以上	70名	—

II) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	〈美術講座〉製本 講師:レ・フラグマン・ドウ・エム(製本と箔押しユニット)	12月17日(土)・18日(日) 13:30～17:00	1 (2日間)	中学生以上	16名	—
2	〈美術講座〉美術解剖学 講師:宮永美知代(東京藝術大学美術学部助教)	3月12日(日) 15:00～16:30	1	中学生以上	70名	—

Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	四季のみじたくシリーズ29夏のみじたく 講師:juli(白樺かごの工芸家)	7月24日(日) 11:00~13:00、14:30~16:30	2	小学4年生以上	各回10名	19名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月15日(土)、16日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30	4	5歳~小学2年生	各回10名	25名
3	四季のみじたくシリーズ30 秋のみじたく 講師:中澤季絵(イラストレーター)	9月24日(土)10:30~16:00	1	小学4年生以上	15名	15名
4	四季のみじたくシリーズ31 冬のみじたく 講師:しおいりあさこ(作家)	10月30日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学3年生以上	各回10名	—
5	四季のみじたくシリーズ32 春のみじたく 講師:ヤナセレイ(ジュエリーデザイナー)	3月	1	小学4年生以上	20名	—

学校関連事業

I) スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

		校数	延人数
① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする	7	446名
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する	3	64名
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える	3	9名
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする	1	249名

II) ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。平成28年度は6回開催する。

	展覧会名	参加人数
1	横井弘三展	13
2	コレクション展	8
3	しりあがり寿展	22
4	朝井閑右衛門展	15
5	栗津則雄コレクション展	—
6	練馬区立美術館コレクション展 田沼武能展	—

III) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

(3) 平成28年度 博物館実習実績(報告)

実習実施期間

平成28年9月1日(木)～9月7日(水)＜6日間＞

No	大学名	学部等	人数
1	共立女子大学	国際学部 国際学科	1名
2	女子美術大学	芸術学部 アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域	1名
3	成城大学	文学研究科 美学・美術史専攻 (博士課程前期)	1名
4	立教大学	文学部 史学科	1名
5	聖心女子大学	文学部 歴史社会学科	1名
6	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
7	学習院大学	文学部 哲学科	1名
8	日本大学	芸術学部 文芸学科	1名
9	武蔵野美術大学	造形学部 建築学科	1名
10	武蔵大学	人文学部 ヨーロッパ文化学科	1名
合 計			10名

(昨年度12名)

(4) 平成28年度 収蔵品貸出一覧(中間報告)

8施設の展覧会に、計30作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	サントリー美術館	オルセー美術館特別協力 生誕170周年 エミール・ガ レ展	6/29～ 8/28	書籍『フルール・アニメ』1847年(鹿島茂コレ クション寄託) 一式、他2件
2	苫小牧市美術博物館	Art and Air～空と飛行機を めぐる、芸術と科学の物語 展	7/9～9/4	中村宏《飛行機不時着す》1963年、他11点
3	茅野市美術館	在る表現—その文脈と諏 訪 松澤宥・辰野登恵子・ 宮坂了作・根岸芳郎展	8/7～9/11	辰野登恵子《Untitled92-7》1992年、他7点
4	鳥取県立博物館 他2館	日本におけるキュビスム— ピカソ・インパクト展	10/1～ 2017/3/26	池田龍雄《十字街》1952年、他3点
5	神奈川県立近代美術 館 鎌倉別館	松本竣介 創造の原点	10/8～ 12/25	鬘光《花と蝶》1941-42年、他1点

3 美術の森緑地について

(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向について

① 現況

平成 27 年 3 月 30 日に「幻想美術動物園」をコンセプトにリニューアルオープン、天然芝と 20 種類 32 体の動物を中心とした彫刻群が人気を呼び、平成 27 年度は延べ 79 万人弱※の方々に利用頂いた。オープン以来、雑誌や TV 番組等でもたびたび紹介され、「練馬の新しい名所」となっている。

彫刻は、触ってもいい、坐ってもいい「遊べるアート」として、道は「歩けるアート」として制作・設置したが、狙い通り、連日、親子連れを中心に「老若男女」で賑っている。

② 来場数推移

前年度末累計	791,307人
平成28年4月	61,418人
5月	59,527人
6月	54,903人
7月	59,090人
8月	53,313人
9月	54,957人
10月10日まで	19,000人
平成28年度途中累計	362,208人

※緑地内 2 箇所に設置したカウンターの累計

③ グッズの開発・販売

平成 27 年 8 月から、動物デザインのグッズを販売中。

(ポストカード、クリアファイル、トートバッグ、マグカップ)